

# みなみ

病院の理念  
私たちは、  
「全人的医療の希求」を  
めざしています

表紙：「内浜診療所」～装いも新たにオープン  
病気の話：インフルエンザの常識・非常識  
WHAT'S みなみ / RUN 乱らん——免疫力  
子どもの病気Q&A 「予防接種」  
リハビリテーションから / 新年のご挨拶



クリスマス会のようす



リハビリルーム



新しくなった2F受付



デイケアルーム



BEFORE

## 装いも新たにオープン 新しくなった内浜診療所の取り組みにご期待ください

2006年11月から、約1カ月をかけて、内浜診療所の改装工事を行いました。皆様にはご迷惑をお掛けしましたが、この度、装いも新たにオープンしました。これを記念して、今回の「みなみ」では、内浜診療所・陳明俊所長にインタビューを行いました。

— 早速ですが、今回の改装工事を行った理由を聞かせて下さい。

まず、建物自体の老朽化が大きな理由です。古い建物では、よく配管（空調、上・下水）が問題となると思いますが、内浜診療所も例外ではありませんでした。配管に問題があれば、建材に悪影響を及ぼしたり、衛生上にも問題がありますし、何より臭いがひどくなります。診療所では空気清浄機も取り入れたのですが悪臭は治まりませんでした。建物が古いことで雰囲気も暗いこともあって、利用者の方々はもちろん、職員にとっても快適であるとはいえない状況になっていましたので、建物の補修が緊急課題となっていました。

— 確かに、以前は古く暗いというイメージがありましたね。

イメージによる影響は大きかったと思います。内浜診療所は大きな交差点の角にあって、近くには京都駅や多くのマンションがあり、立地条件としては非常に良いはずなのですが、新患の方が少なかった。これは、入りづらい雰囲気を、古い建物がもっていたからと考えています。限られたスペースの中で増改築を繰り返し、入り組んで特殊な構造となっていたことで、さらに暗い雰囲気となっていました。職員がソフト面を改善しても、建物の古さが影響して、思ったような効果が現れないということもありました。

— 使い勝手も、改装のきっかけになったという訳ですね。

そうですね。先程も言いましたように、増改築を繰り返したことで、各設備が全体的に狭くなっていましたし、動線も悪くなっていました。今回の改装によって、リハビリテーション室やデイサービスルーム、トイレといったスペースを拡充して、快適性の向上を図っています。もちろん、待合室の雰囲気も明るくして、どなたにとっても入りやすい雰囲気になっています。また、以前は薬局が2階にありましたので、動線が長く、人手も効率が悪く、対面での対応が困難なこともあり、利便性も考慮し、院外処方にしてあります。これは、時流でもあり、利用者の方々のご要望に応えた形です。総合的には、利用者の方々に、さらに良質の医療・介護サービスを提供してゆけると自負しています。

— わかりました。では、今後の内浜診療所の方向性について、どのようにお考えですか。

利用者の皆様にとって、利用しやすく快適な診療所であることを目指しています。通所リハビリテーション施設（デイケア）、居宅介護支援事業所（ケアマネ）、訪問看護等の介護サービスが診療所内にあることで、医療との連携がしっかりとされます。ですから、医療サービスはもちろんのこと、介護サービスも充実させることが、よりよい診療所の実現につながると考えています。経営戦略の視点に立て言えば、診療報酬改定等で、医療・介護を取り巻く環境が厳しくなる中、京都南病院グループの診療圏を守り、拡大していくための「東の拠点」として充実させていきたいと考えています。

— ありがとうございます。

美しい紅葉も終わり、四条南座では顔見世興行の「まねき」が掲げられ、本格的な冬を迎えた12月初めに以下の文章を書きました。

今年も予想されるインフルエンザの流行に備えるにあたり、今回は「インフルエンザの常識・非常識」と題して、皆さんにインフルエンザについて知っていただきたいと思います。

# インフルエンザの 常識・非常識

## 1 インフルエンザワクチンは有効なの？

11月から当院外来でもインフルエンザワクチンの接種を行っています。ワクチンは、その年に流行するであろうウイルス株を予想して作られています。ここ数年、この予想に大幅なズレはありませんでしたが、それでもワクチンの有効率は良くても70%程度です。したがって、ワクチンを接種したからといって発症を100%阻止できるわけではないのです。では、ワクチンを接種するのは無駄かというところ、そうではありません。ワクチンによってインフルエンザ発症を阻止することはできなくても、症状が軽く済むことが期待できるからです。特に高齢の方では、ワクチン接種により入院や死亡の危険性を大幅に減少させる効果がありますので、ワクチンは毎年接種することをお勧めします。また、高齢の方と同居されている場合には、家族の方の接種も必要と考えます。ワクチンの効果を得るためには、接種はインフルエンザの流行前（遅くとも12月まで）に済ませておくことが望まれます。

インフルエンザウイルスは、咳やくしゃみのしぶきにより人から人へ感染します。また、そのしぶきが乾燥することによりウイルスが空気中に浮遊しますので、これを吸い込むことでも感染しますし、接触することによっても感染する可能性があります。したがって予防対策として、手洗い、うがい、マスクの着用は

ワクチン接種と同様に重要です。病院へ来院される場合にはマスクを着用し、帰宅されたら手洗い、うがいをぜひお願いします。

## 2 インフルエンザ検査は信用できるの？

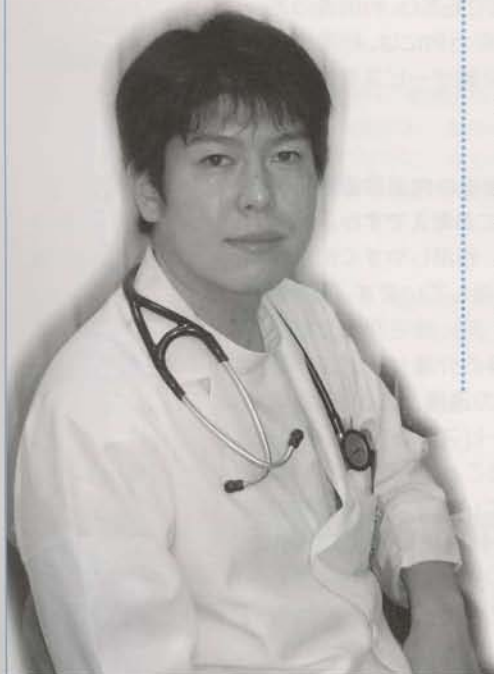
インフルエンザウイルスは、気道の粘膜細胞に感染し、急速に増殖して症状を引き起こします。典型的な症状は、鼻水や喉の痛みが続いて起こる急な発熱と筋肉痛です。インフルエンザが流行している時期にこのような症状が出現すれば、インフルエンザである可能性はきわめて高いといえます。外来では、鼻の奥を綿棒で擦って（ちょっと痛いですが）、それを検査し15分ほどで結果が出ます。「陽性」と出れば、まずインフルエンザで間違いないと考えますが、ここで「陰性」と出た場合、インフルエンザではないと、言い切ることはできないのです。発症初期（12時間以内）の場合は、たとえ典型的な症状があったとしても、検査で陽性とならない可能性が十分あります。ですからその場合には、流行している状況で上記の症状が見られれば、インフルエンザと診断することになります。必ずしも検査で白黒つけるわけではないのです。

## 3 「インフルエンザ＝「タミフル」服用」で、解決するのか？

「タミフル」という薬の名前は、昨年マスコミでも取り上げられたため、皆さんも名前は聞いたことがあるかと思います。この薬は、気道粘膜でインフルエンザウイルスが増殖するのを抑える効果があ

内科

小原 章央



ります。これにより症状が早く緩和されるということでも処方されるわけですが、どのくらい早く症状が緩和されるかという、服用しない場合と比較して1〜3日早く症状が緩和されるということです。ただし、ここで強調しておきたいのが、「タミフルを飲まなければインフルエンザは治らない」わけではない、ということです。基礎疾患の無い若年、青年層の方であれば、十分な休養と安静、栄養、そして解熱剤などの症状を緩和させるお薬によって治療可能な(自然と治っていく)病気なのです。タミフルを服用すれば、症状は少しだけ早く緩和されるでしょうが、服用しなくても通常は5日前後で治癒します(もちろん、ご高齢の方や心臓、肺、腎臓などに病気をお持ちの方は、肺炎等を合併し重症化しやすいため、服用することに異論はありません)。昨年、若年者でタミフル服用後の異常行動が問題となりました。こうした事も踏まえ、「インフルエンザ=タミフル服用」と決め

つけるのではなく、外来で医師と十分相談し、治療方針を決められるようお願いいたします。

タミフルを服用する場合に、もうひとつ知っておいていただきたいことがあります。それは、症状が緩和されたからといって治癒したわけではない、ということです。解熱した後も、ウイルスの増殖はまだ少し続いています。

したがって、この間に無理して日常生活に戻すと、再び体調を崩すことにもなりかねませんし、他の人へ感染させてしまう可能性もあります。

結局、インフルエンザを治すためには、自分自身の抵抗力(免疫)が必要です。抵抗力をつけるためには、十分な休養と安静、そして栄養が大切です。解熱して症状が緩和されても、最低2日は養生することをお勧めしています。「仕事が忙しいのにそんな

に休んでいられるか!」と思われるかもしれませんが、そこは発想を転換して、「ゆっくり休むいいチャンス」と思って休まれてはいかがでしょうか(ちなみに、学校保健法では、インフルエンザは解熱後2日まで出席停止となっています。大人ではこのような法規制はなく、あくまで「自己責任」です)。



すでにインフルエンザにかかってしまったという方には来年に向けての参考に、まだかかってない方には、今後の予防のために、参考にしていただけたらと思います。

※今回お話ししたのは「通常のインフルエンザ」についてです。鳥インフルエンザや新型インフルエンザについては、また次の機会に紹介させていただきます。

## information What's みなみ

このコーナーでは、京都南病院をもっと知っていただくために、医療・福祉に関連する情報やお知らせをお届けします

### 落語&おしりの話

平成18年11月11日(土)京都南病院講堂において、『第二回みなみ寄席』と勉強会が開催されました。参加者は南健康会の会員さまを中心に約80名という盛大な催しとなりました。第一部では、当病院での寄席は2度目になる桂米二さんによる落



語『田楽喰い』『初天神』。京都出身という米二さんの軽快な語り口が参加者の笑いを誘いました。第二部は、清水院長による『おしりの話』。普段はちょっと恥ずかしくて聞けないおしりの話ということもあり、みなさん熱心に聴かれていました。

### 久世中学校を訪問しました!

「生き方探求・チャレンジ体験」として、今年度中学生実習を受け入れている久世中学校で、将来、看護師や社会福祉士など医療・福祉従事者を目指す生徒さんに現役の体験談として、5南病棟の澤田絵美さん、高田朋枝さん、研修医・外松哲彦医師がお話をしてくれました。(平成18年11月14日)



写真右手前から：  
外松医師、高田さん、澤田さん

### 〜外松医師コメント〜

「体のサイズは僕の1/3ぐらいにしか満たない中学生のみなさんでしたが、将来を考える熱き魂は驚愕でした。小さな巨人とは、まさにこの事だったのかと思いました」

# RUN 乱らん

TEAM BMI22 (Running Club)

広報担当 四方 達二

## インフルエンザ、風邪、花粉症に負けない体質に！ 危険を回避する鍵は「免疫力」

夏の異常高温が原因でスギ花粉の発生が例年の20～30倍という年もありました。こうなると花粉症を持つ方にはたまりません。ところで花粉症等のアレルギーを起こしやすい体質とインフルエンザに感染したり風邪をひきやすい体質は似ているのでしょうか？

体力を消耗し、寒風の厳しいこの時期、本格的な風邪のシーズンで、昨今は鳥インフルエンザやら、2月になればスギ花粉も飛び始めてきます。この危険を回避するための鍵になるのは「免疫力」。免疫力が豊富な体質作りを心がけましょう。

### 風邪の治療は1分を争うつもりで自分の体と対話をしよう

風邪は呼吸器が傷む病気ですから、とりわけランナーにとって大敵です。日常生活を送るレベルでは完全に回復したと思っても、数週間は呼吸機能は未回復状態だと考えておいたほうがいいでしょう。一度風邪をひくと、完全回復に数週間、その間に落ちた体力を回復するために、さらにプラス数週間、元の状態に戻るまで合わせて1ヵ月以上かかることとなります。風邪をひく原因ははっきり分かりませんが、風邪をひくのは本人の不注意です(?)。

わずかな不注意でそれまでの練習をムダにしてしまわないように日々注意したいものです。

とはいうものの、完全に風邪やインフ

ルエンザにかかった人に接近しないで済ませられるものではありません。もし風邪を引いてしまったらどうしたらいいのでしょうか。

### ●寒気がする時

保温して、身体を温めるタイプの風邪薬(葛根湯など)、食事でも体を温めるもの、お粥とか麺類のような食事をとります。一方で体を冷やす料理(生野菜、果物、刺身など)を避けましょう。

### ●ほてり感がある時

身体を冷やすタイプの風邪薬をのむ、うがいをします。

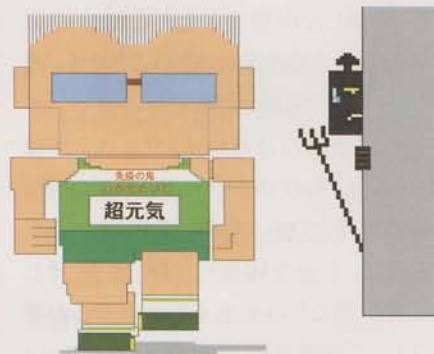
皆さんに心掛けて欲しいのは、調子のいい時の“体感”を覚えておいて、ちょっとでも寒気がしたり、肌が乾燥して熱気を持っている感じがしたらすぐに対策をほどこすようにしてみてください。

### 外部からの侵入を防ぐ

免疫力をつけるには、肌や粘膜が強固である事が大切です。“強固である事”とは皮を厚くというわけではありません。

汗で湿った後に、手入れせずに乾いた冷風にさらせば皮膚や粘膜はカサカサになり、細胞間に隙間ができて、外部から容易にウイルスや細菌が侵入しやすくなるのです。侵入しにくい皮膚や粘膜は潤いがあって組織がしっかりしており、つけ入るすきを与えません。

シルバー世代になると、持って生まれた体力も衰弱してきていますから、免疫力の働きも衰えてしまうのです。冬にインフルエンザが流行するのは、ウイルスが寒さを好むということと皮膚や粘膜が荒れる、換気が悪い空間で生活することが多くなるなどさまざまな原因があります。これ以外にも、必要以上のダイエットや不摂生、過剰な食事制限をするた



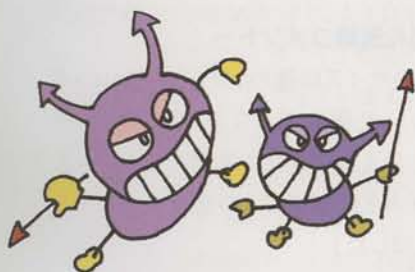
「病気の方が、避けて通ってくれますわ」  
四方 談

め、栄養が不足気味・肌が汗で湿った後、冷風で乾燥し皮膚がカサカサに・疲労が残った状態で通勤、職場の人混みへ…。

鳥インフルエンザ、SARS、エイズ、肝炎ウイルスをはじめさまざまな新型ウイルスの登場が心配されており、さらに日本人はウイルスやアレルゲンに対する抵抗力が低下しているということも指摘されています。花粉症だけでなくアレルギー性喘息患者の増加も厚労省が重要対策事項に取り上げるほど問題になっています。

### 【ウイルス、細菌、アレルゲンを防ぐ心得】

- 人混みは避ける
- 外出時はマスクをする
- 手洗い、うがいの励行  
(※うがい薬を使えばさらによい)
- 目・鼻の粘膜に触れない
- タオル、目薬などは共用しない
- 運動後はすぐに汗を流して保温し、露出部には保湿クリームを
- 加湿器などで部屋に適度な湿り気を
- いろいろな食品をまんべんなく食べる
- 冷飲冷食、暴飲暴食、刺激物の多量摂取をしない
- 十分な睡眠をとる(睡眠中に免疫力が養われる)
- ストレスを減らす
- 体を温かく保つ



## 「予防接種」

予防接種はワクチンを接種することで体に病気に対する抵抗力(免疫)を付けさせて、はしかや百日咳など子ども達がかかると重症になる感染症を予防しようとするものです。ワクチンには弱毒化した生きたウイルスを接種する生ワクチン(はしか、風疹など)と病原体成分や無毒化された毒素を用いて体に免疫抗体をつくらせる不活化ワクチン(DPT、インフルエンザなど)の2種類があります。

平成6年から予防接種は義務接種から勧奨接種に変更されました。勧奨接種とはワクチン接種の必要性、安全性、副反応、自然に罹患したときの重症度などについて説明を受けられ、その利益と不利益を理解した上で受けるように努めましょうという意味です。対象疾患は、予防接種法に定められた7種類(ポリオ、ジフテリア、百日咳、破傷風、麻疹、風疹、日本脳炎)と結核予防法で定める結核の計8種類です。それぞれのワクチンは母児免疫の消退時期と罹患した場合の重症度を考慮して標

準的な接種年齢が設定されています。

## 標準的な予防接種スケジュール

平成17年に結核予防法が一部改正されBCG接種は生後6ヵ月までの接種となりました。これまでは違って、ツベルクリン反応検査なしに直ぐBCGの接種となります。平成18年6月には予防接種法も改正施行され、麻疹と風疹は2種混合ワクチンとなり1期と2期の2回接種になったことが大きな変更点です(生後12ヵ月から生後24ヵ月までの1年間に1期目の接種、5歳以上7歳未満、小学校就学前の1年間に2期目の接種を行います)。ポリオは生後3ヵ月から18ヵ月までに春と秋の2回、生ワクチンを内服します。DPT三種混合ワクチン(ジフテリア・百日咳・破傷風)はこれまでどおり、1期の初回接種は生後3ヵ月から12ヵ月の間に3~8週間の間隔で計3回と初回接種終了後の12~18ヵ月に1期の追加接種があります。11歳から13歳未満の間にDT2種混合ワクチン(ジフテリアと破傷風)が2期としてあります。なお日本脳炎の予防接種は平成17年6月以降中止されています(ADDEMという健康障害が

100万接種に1回以下ですが発症したことが中止理由です。日本脳炎の流行地域に家族で赴任されるなどの場合で希望されれば接種可能です)。なお病気や忘れていたなどの理由で標準的な時期に接種できなかった場合でも、担当の先生に相談されてできるだけ接種するようにして下さい。インフルエンザや流行性耳下腺炎、水痘ワクチンなどは任意接種ですが、流行する季節の前や保育園や幼稚園などの集団生活に入る前にワクチン接種で免疫を付けておく方がよいと思います。

## 予防接種の副反応について

予防接種には、注射部位の発赤・腫れ・痒み・しこり(10~40%)や発熱(5~20%)など軽微な副反応から、アナフィラキシーショックの様な稀だが(1万接種以上に1回)重い副反応まであり、100%安全なものではありません。しかし、自然感染した場合に重篤な合併症を起こさないと前もって判らない以上、ワクチンで予防可能な疾患は予防接種で免疫を付けておくことが大切です。

小児科医長 中院 秀和

リハビリテーションから…  
寒さと関節痛

寒い季節は、温暖な季節に比べて関節の痛みやしびれの悪化を訴える方が多くなります。一口に関節痛といってもその原因は怪我、感染症、リウマチ、通風など様々なものがありますが今回は中高年の方に多い「変形性膝関節症」についてお話をさせていただきたいと思います。

膝関節は下肢の関節の中心的な役割を担っています。膝関節の可動性は広く、膝の曲げ伸ばし(屈伸運動)では、歩行で約60度しゃがむ動作で約100度、正座では約140度と言うように、広い範囲の屈伸運動を担っています。可動性とともに関節の重要な機能である支持性に関しても膝関節には大きな負担がかかっています。平地歩行時には体重

の約1.5~2倍、階段昇降時では約2~3倍、走ったりする時には5倍以上の力がかかる場合もあります。日常生活動作において常に動き、体重を支えるという過酷な環境にさらされているため、関節の接触面は関節軟骨というクッションで覆われておりますが、さらに膝の場合は半月板というもうひとつのクッションで覆われており摩擦や衝撃に強い構造になっています。しかしながらいくら丈夫にできているとはいえ基本認識として物がこすれあうとそこには必ず摩擦が発生します。摩擦が生じている部分はだんだんすり減っていきます。関節の加齢による変化は、関節表面を覆っている軟骨の磨耗(すり減り)や変性に始まりやがて土台の骨そのものの変形を生ずるようになります。これを変形性関節症と言います。

それを抑えるには日常の動作や生活

法が大きな関わりを持っています。特に冬場は膝関節が冷たくなりやすい部位となりますので、自分に合ったサ

ポーターを着用するなど関節を冷やさない工夫をしましょう。市販の簡易カイロを携帯するのも効果的かもしれません(低温やけどに注意してください)。また、関節に過度の負担をかけないことも重要です。①クッション性の高い自分の足に合った靴を履く。②正座をできるだけ避け椅子を使う。③体重を増やさないように食習慣を見直したり、入浴の際に十分に温めて入浴後に冷やさないように気をつけるなど、日ごろから関節をいたわるようにしてください。

リハビリテーション部  
係長 森山 孝之





# 新年のごあいさつ



## よりよい医療・介護を目指し、変革を続けます



みなさま、明けましておめでとうございます。みなさまの昨年的一年はいかがでしたでしょうか。

昨年は小泉内閣の最後の仕上げとして、財政優位の診療、

介護報酬改定があり、医療・介護を提供する側、受ける側共に大変厳しい年でした。今回の政府の医療制度改革の基本的な3本柱は「安心・信頼の医療の確保と予防の重視」「医療費適正化の総合的な推進」「超高齢社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現」ですが、昨春の診療報酬改定による、医療界の混乱は予想以上で、安心・信頼の医療の確保どころか、へき地医療の崩壊、小児科、産科医療の崩壊が現実化しています。また医療費の適正化とはいうものの、誰に対しての適正化なのか、単にプライマリーバランス（国や地方自治体などの基礎的な財政収支）を実行するために、弱者いじめをしているのではないかとされます。しかし改革はまだまだ進み、数年後には一般病床、療養病床も縮小され、入院して満足のいく医療が受けられるのか心配されています。このままでは私たちが築き上げてきた地域医療は崩壊するだろう、いやもう崩壊寸前だと言っても過言ではないでしょう。このような厳しい状況の中、私たち京都南病院グループは、今まで以上に地域を守り、より良い医療・介護を提供していくことを使命とし、日夜努力していこうと考えています。

ところで、私たち京都南病院グループは、毎年一つずつ大きな改革事業を遂行することを目標にして参りました。2004年度には病院内IT化と医薬分

業、2005年度には新型MRI導入を実施してきました。そして2006度は内浜診療所の改装を行いました。以前よりアメニティが悪く、ご迷惑をおかけしていましたが、医薬分業と同時に改装し、みなさまにより親しんでいただける診療所にいたしました。本年もまた新しい改革事業を計画中です。よりよい医療・介

護を提供してゆけるように、変革を続けてゆくことが重要と考えています。

どうか本年もご支援、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

院長 清水 聡

## 安心できる医療制度の確立のために

新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎えて私達の医療界は山積する難問を抱え苦悩しております。

昨年4月の診療報酬改定は、医療提供体制の転換点として今後長く記憶されることでしょう。さらに、医療制度改革関連法が既に成立し、昨年10月から、療養病床の食事・居住費の自己負担が施行されています。今後の医療制度改革関連法案は、今年3月には後期高齢者医療（75歳以上の高齢者に対する医療）の広域連合を各都道府県に設立し、来年4月、高齢者医療制度と医療費適正化計画が開始され、2012年4月に介護療養型医療施設の廃止と続きます。

われわれ民間病院にとっては、医療費の削減が最大の局面であり、小泉前内閣の集大成でもありました「骨太の方針2006」で2011年に国家プライマリーバランスをゼロとするために1兆6000億円の社会保障費の削減が殆ど議論せずに決定され、その大部分が医療費の削減より生み出されようとしています。医療に携わる関係者の厭世観が広がり光明の見えない時代となってしまった感があります。

このような医療情勢の中、地域医療研究会の代表世話人会・諏訪中央病

院名誉院長の鎌

田 寛先生は、  
◀このままでは日本の医療はつぶれてしまう。一度崩壊すれば、受診待機



者100万人といわれているイギリスのように国民は不幸になるだろう。イギリスではここ5年間で1.5倍の医療費に増額しても、医療の提供体制は回復してこない。日本の医療もトコン壊してしまっ  
てはいけない。土依際の今のうちに手を打たなければいけない」とおっしゃっています。いずれにしても、暗い話題ばかりとなりましたが、「自民党をぶっ壊す!」と派手なスローガンとパフォーマンスでスタートした小泉政権も、気が付けば歴代三位の長期政権を誇り、高支持率のまま、終焉を迎えました。後を引き継ぐ安倍政権には、医療を真に必要とする人が、安心して病院にかかれる医療制度の確立のため、腰を据えて取り組んでいただきたいと、切に願っております。

事務長 山本 勝美

■ ご利用ください

新しい本がはいりましたら、病院玄関のブックポストに掲示していますのでご覧ください。

本の紹介

【小説・随筆】

死亡推定時刻

牡丹酒

帰還せず

荷風さんの戦後

ナイチンゲールの沈黙

ツレがうつになりまして

【その他】

京都の不思議

京都の不思議Ⅱ

歩きたくなる 京都地図本

車いす&おとしよりのためのバリアフリー京都観光

東寺

浄瑠璃寺

東福寺

グーグル Google [文春新書]

朔 立木著

山本一力著

青沼陽一郎著

半藤一利著

海堂 尊著

細川貂々著

黒田正子著

黒田正子著

京阪神エルマガジン社編

<古寺巡礼/京都1>

<古寺巡礼/京都2>

<古寺巡礼/京都3>

佐々木俊尚著

【健康図書】

自分で治す心身症12のヒント

高橋 進著

認知症の介護のために知っておきたい大切なこと

高橋誠一監訳/寺田真理子訳

ひとりぼっちを抱きしめて

日本糖尿病協会編

救急蘇生法の指針 改訂3版

<市民用・解説編>

乳がん診療ガイドラインの解説 2006年版 日本乳癌学会編

【絵本】

ぐりとぐらの絵本(全7冊)

まます すきです すてきです

谷川俊太郎著

バムとケロのおかいもの

島田ゆか著

やさいたちのうた

藤富保男(詩)

ぱったくん

五味太郎著

ノンタン絵本シリーズ

[小児科外来パンダ書架]

あかちゃんのおそびほん(全10冊)

[小児科外来パンダ書架]

びょうきのほん(全3冊)

[小児科外来パンダ書架]

## 2007年、夢と希望の実現に向けて

昨年は4月の診療報酬改定以後、慌ただしく年が過ぎた1年でした。

看護料の引き上げで、当院も8月には10:1(従来の2:1)看護が取得できました。しかし、更に入院基本料の高い7:1が設置されたため、看護職員を確保するために、どの病院も躍起となった1年でした。「今年の学生は引く手あまた、どこでも選べる」とまで言われ、卒後の教育体制が今まで以上に問題とされています。

当院でも、基準・手順を新人にわかりやすく理解してもらえるように、と見直し工夫しているところです。当院の看護がよいからと、自信を持って看護ができるようにすることで、やりがいのある仕

事ができることを今年もめざします。そのことが、新人だけでなく、今共に看護する仲間たちの離職を防ぐことにもなると思っています。

バランススコアカード(業務評価法の1つ)で目標として挙げている、「働きやすい職場・働きがいのある職場づくり」は、何より良い人間関係からです。やさしそうに見えてこれが一番難しいことではあるのですが。

声のかけあい一つで、忙しいことが不満につながるか、忙しい時に頑張った達成感となるか、大きく分けられるところです。「ポジティブ思考でいくこと!」

新病院構想が具体化することが今年の夢と希望なら、今、十分でないアメニティを効率的に整理・整頓・清掃することでカバーしましょう。「狭いながらも楽しい病院」にできるはずです。

それには、良い人間関係づくりを、まず接遇の徹底、笑顔で挨拶から始めましょう。

「声をかけても変わらない」と嘆くより、「いつかあなたの笑顔とやさしい声が聞きたい」と希望をもって挨拶をしていき



ましよう。“何よりもポジティブ思考で!”

念じれば思いはかなうことを、一つでも、一人でも、あきらめずに継続していきましょう。

看護部長 寺口淳子

編集後記

広報誌「みなみ」をご覧の皆さま、あけましておめでとうございます。

このたび、職員の名札を一新しました。氏名はフルネームで、所属・職種、もちろん顔写真がニコヤカに入っています。お気づきになられた方も多いかと思います。

職員一同、地域の方々のお役に立てるよう、さらなる努力を目指しますので、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

(副事務長 森 一郎)

minami\_kouhou@ybb.ne.jp



外来医師担当表

色付きの外來は予約制です。

診療科	診察室	月	火	水	木	金	土	
あさ	新患	6	作 功一	宋 光明	小原 章央	阿部 純	新林 成介	福西 恵一
	内科	1	久保田和宏	原田 政吉	原田 政吉	鈴木 竜太	原田 政吉	小仲 良平
		2	久保田 忍	端 正史	久保田 忍	原田 健志	戸津崎茂雄	古石 隆光
		3	小仲 良平			新林 成介		(外科)廣間 文彦
	整形外科	5	佐藤 和美	藤本 行紀	住岡 秀史	山本 浩	藤本 行紀	村井 淳志
		16	岡本三希子	新谷 泰久	岡本三希子	宮原 忠夫	岡本三希子	
	外科	11	新林 弘至	寺脇 稔	森本 佳秀	山川 知之		柿木 良介 (手の外科) (9:30~)
	外科	10	陳 明俊	佐々木敏雄	清水 聡	相馬 祐人	陳 明俊	清水 聡
	小児科	18	中院 秀和	中院 秀和	中院 秀和	野崎 友子	中院 秀和	中院 秀和
	眼科(11:30まで)	14	永原 誠子	大石 明生	鶴木 則之	永原 誠子	木村 徹志	大石 明生 (2月から西崎一男)
婦人科	64	町原 充	町原 充		橋本 良子(9:30~)		町原 充	
耳鼻科	15	熊谷 晴美	加藤 尚美 (11:30まで)	牧本 一男 (10:00~)	加藤 尚美 (11:30まで)	糖尿病外来 交代	加藤 尚美	
脳外科	3		横溝 大	幸地 延夫		二階堂修(11:30まで)		
泌尿器科	20	前田 康秀	山崎 俊成		清水 洋祐		前田 康秀	
ひる	2	山本浩(心療内科) 2:00~(初診優先)		安藤 正昭 2:00~		健康管理外来 木村 繁男 2:00~		
	3		木村 繁男 2:00~			川合 一良 1:00~		
	16		血液外来 藤本 佳子 2:00~					
	11	特殊外来		整形 寺脇 稔 (完全予約制) 2:00~	三上 勝利 2:00~			
	15		加藤 尚美 2:00~		加藤 尚美 2:00~			
	6	皮膚科外来 井手山 矛 2:00~	高脂血症外来 久米 典昭 2:00~		皮膚科外来 井手山 矛 2:00~	皮膚科外来 今出川盛宣 2:00~		
	18	予防接種外来 2:00~3:00 小児科外来 中院秀和 3:00~4:30	小児科外来 中院 秀和 2:00~4:30	小児科外来 中院 秀和 2:00~4:30 第2週は休診		予防接種外来 2:00~3:00 小児科外来 中院秀和 3:00~4:30	第2・3週のみ 小児科外来+検査 中院秀和 2:00~4:30	
よる	1	福西 恵一	新林 成介		小原 章央	新谷 泰久		
	2		戸津崎茂雄 6:30~		端 正史	山本 浩		
	3	鴨井 泰三	原田 健志					
	5	古石 隆光	笠井 高士		久保田和宏	藤本 行紀		
	16	乳腺外来 廣間 文彦			外科(女性専門) 鷹野 留美			
	11	整形外科	寺脇 稔	榎本 宋朗 7:30まで	池口 良輔	交代 6:00~		
	10	外科	陳 明俊	相馬 祐人	廣間 文彦	佐々木敏雄		
	14	眼科			鶴木 則之 6:30~ (2月から西崎一男)			
	64	婦人科				町原 充		
	15	耳鼻科	梅田 裕生			平野 滋		
20	泌尿器科	前田 康秀						
3	形成外科				片岡 和哉 6:00~			

※小児科午後は1/22~の担当表です。2006年4月から小児科の夜診はなくなりました。

2007年1月15日現在

診療科目

内科/神経内科/消化器科/呼吸器科/循環器科/  
アレルギー科/心療内科/外科/整形外科/脳神経外科/  
リハビリテーション科/麻酔科/リウマチ科/形成外科/  
泌尿器科/肛門科/婦人科/小児科/眼科/皮膚科/  
耳鼻咽喉科/放射線科

専門外来

糖尿病/アレルギー/血液/リウマチ/脳疾患リハビリ/  
心療内科/高脂血症/術後/健康管理/予防接種/乳腺

診療時間

(月~土) あさ8:30受付 9:00~正午  
(月、火、木、金) よる5:00受付 5:30~8:00  
急患の方は24時間対応しています。

特定医療法人健康会 総合病院京都南病院

〒600-8876 京都市下京区西七条中野町8  
TEL.075-312-7361(代表) FAX.075-311-7965  
TEL.075-313-8318(日・祝・夜間)  
http://www.kyotominami.or.jp/  
メールアドレス:minami\_kouhou@ybb.ne.jp

周辺地図

